

約300人が熱心に聴講

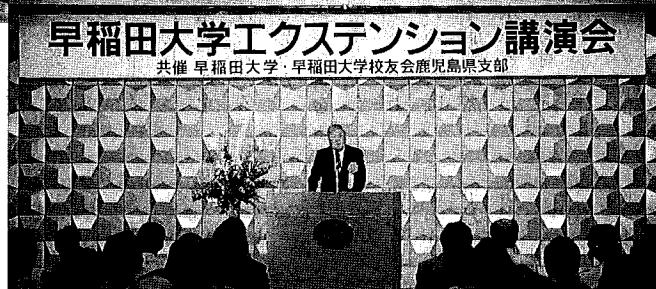


エクステンション講演会
&
鹿児島県支部総会



■発行
早稲田大学校友会
鹿児島県支部

■住所
鹿児島市金生町3-1
山形屋本部秘書室
☎099 227-6310㈹



その後の支部総会においては、松元支
部長の挨拶のあと豊
山幹事長より総会議
事が行われ、最後に
奥島総長と一緒に
参加された中嶋校友
会代表幹事の挨拶が
あり、無事終了しま
ました。

講演に続き、「ワセダ
ラグビー荒ぶる魂」
と題し、日比野弘人
（元ラ
グビー日本代表チー
ム監督）の講演があ
り、校友、父母、ラ
グビー関係者など約
三百人が熱心に聴き
入りました。

総会終了後の懇親会は、校友約
百人の他に多くの在校生父母も加
わるなか、総長を囲んでの写真撮
影など和氣あいあいとした雰囲気
となりました。また校歌斉唱には
欠かせない応援部OBのリードも
西園、岩坪両氏に加え今回、新た
に電通の速水正昭鹿児島支社長（S
41年商学部卒）が指揮をとり、な
おいつそ力強いものとなりま
した。その他恒例の抽選会も大いに
盛り上がりました。なお景品のご
提供をいたいた皆様には、心か
らお礼申し上げます。

平成7年度校友会鹿児島県支部総会

報告 事務局長 川畠 紹則

(S 46年商学部卒)
南生建設㈱専務取締役



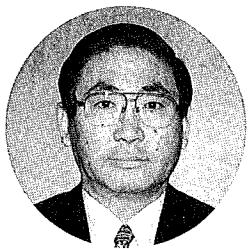
支部総会出席者

夫夫昭樹郎茂朗聰義年一男樹一章穂三夫裕守郎彦 俊憲正一一貴正寿陽睦秀裕京庄和康伸清	安内水原滿元留嶋内村田川田根下木田重田井田 藤堀速松益松増三宮本百森宮米山山八吉吉吉吉	作夫彦義郎雄介二郎晃也弥敦郎彦子夫滋馨一人春修之郎 健幸義充志政啓絃三徹徳純靖洋幸紘貞正信志	中中田田内利里村原嶋原園山口田田田後嶺敷山元 田田月土鶴藤玉永中新西中西西野橋春濱濱肥平東福福	繁徳剛史郎介生朗一夫司昭尋紀郎郎則郎哲郎正剛篤美 一成博一良長史紘龍英良千義節将将孝善榮好和博	原藤山内平平路島池保山岩玉山謝謝畑田田吉田寺山 川加樺川上上上辛菊菊久栗黒兎郡古吉川小川重七城住豊	始赤納石板板井蘭岩岩上上大大大大大奥尾石坂 一多嘉利正辰豊久信吉眞一雅一洋三通伸仲友司立
--	--	---	--	--	--	---

もう一つの中国ビジネス

南日本銀行常務取締役

福山信之 (S41年商学部卒)



最近、鹿児島県内でも中国ビジネスに積極的に参入する企業が増えてきている。一つには、中国から安価な商品を輸入することにより販売価格を引き下げ、販売政策上の差別化を図ろうという動きである。中国からの輸入は、これまで行っていたが、価格破壊が流行語となる時代背景のもとに、こうした動きは更に加速され、輸

入品はサツマイモ・ハチミツ・飼料等の農産物から、石・ランマ・銘木等の住宅関連資材、衣料・自動車等の軽工業品まで多岐に亘っている。ところが、ごく最近に至り、一つの中国ビジネスに興味を持つ国に直接投資するという「もう一つの中国ビジネス」が現れる。鹿児島にもこうした進取企業が増えてきている。このグループは既存の大手地場企業ではなく、むしろ規模が比較的小さく、しかも経営者が若いという特徴がある。彼等は口を揃えて言う。日本は成熟社会に移行し、企業の成長にもいざれ限界が来る。そうであれば、毎年十数パーセントの成長を持続する中国で思い切りビジネスをしてみたいと。先日、地元の新聞に大きく取り上げられたので、ご存知の方も多いと思うが、今月、上海市でクリーニング店をオープンするN社（鹿児島市）もこうした企業の一つだ。千二百万人も三千三百万人ともいわれる巨大な市場、所得増に伴う服装の高級化、三十年前の技術水準といわれる上海のクリーニング業界、近代的かつ効率的設備を有するN社等の背景を考えれば、成功の可能性は極めて大きい。

北京市と上海市でコンサルタントを務める傅社長によれば、中国ビジネスの中心は近い将来、従来の輸入型（中国からの物の輸入）から直接投資型（中国でのビジネス展開）へ移行すると言った。その場

合、有望な業種は流通（問屋を含む）、飲食業、ビルメンテナンス、スポーツ関連等だそうだ。中国への進出には様々なリスクを伴うが、多角的なリスクの把握、適格なパートナー選択、徹底した市場調査、担当者が出現してきたのは頼もしい限りだ。

初めましてとして思ひつゝま

南日本銀行与次郎ケ浜支店次長
安部 広 (S53年第一文学部卒)

十三年ぶりの帰鹿である。私の銀行員生活は十七年半であるが、そのうち大阪に七年、東京に六年半と鹿児島を離れている生活の方が大半を占め、地元の銀行に勤めていたという実感も薄れかけていたのも事実である。現在帰鹿して四ヶ月であるが、正直言つて十三年半のギャップは大きいものがある。何故ならこの期間、貿易関係で三年、残る十年半は外國為替ディーラーと、所謂専門業務だけを歩んで来た後の営業店業務だからである。暫くは人一倍苦労しそうであるが、頑張るしかないと

ディーラーといえば、一般的な見方ではエリートと思われがちだが、銀行内での地位は世間で考えられている程高くはない（大手の都市銀行クラスは別であるが…）。その仕事が専門的すぎて、他の業務には役立たないと考えられているからである。残念ながら実際のところディーリングの知識は、営業店で直接役に立つ事はない。かえって邪魔になるかもしれない。

ところで、ディーラーを十年もやつていると、いろいろな場面に遭遇する。その中で面白い逸話を紹介したいと思う。

バブルも最盛期の頃の話。プロ

相は「郵貯民営化」説を何故言いつているのではない。小泉元郵政方日の丸。安心である。しかも金利が有利。

本当にどうか？銀行員だから言つておられるのではない。小泉元郵政

相は「郵貯民営化」説を何故言いつているのではない。小泉元郵政

後更に情報公開を進めて行くであろうが、郵貯の大半の運用先である財政投融資の内容については全く情報の公開はない。しかも、第三者の検査機関もない。

もし私の直感が当つているとすれば、ツケは国民の税金である。

そうならなければ良いが……。同

H銀行に取引の電話を入れた際に「うちでは地銀じやねえんだぞ」と凄い剣幕で怒鳴られたらしい。どうもそのディーラーは、自分の銀行が都銀クラスで「頭が高い」と言いたかったらしい。理不尽な話である。私はブローカーへの慰めの言葉で「驕れる者は久しからずだよ。そう思つて気にならない方がいいよ」と言つたのだが、今となつてはそれが現実となつた。

私は他人の不幸を笑うつもりはない。リスクの少ない様に思えるものこそ、意外にリスクが大きいものだという事を言いたいのである。その当時、私は大蔵の方に「H銀行のリスク管理を見習いなさい」とまで言われた事があったのである。

現在、最もリスクがない様に思われているもの。郵貯である。親方日の丸。安心である。しかも金利が有利。

本当にどうか？銀行員だから言つておられるのではない。小泉元郵政

相は「郵貯民営化」説を何故言いつているのではない。小泉元郵政

後更に情報公開を進めて行くであろうが、郵貯の大半の運用先である財政投融資の内容については全く情報の公開はない。しかも、第三者的検査機関もない。

もし私の直感が当つているとすれば、ツケは国民の税金である。

そうならなければ良いが……。同

新郎は初対面

岩崎産業株取締役木材部長

西園靖彦 (S 41年商学部卒)

国分市で製材業を経営する米田

裕一君 (S 57年理工学部建築卒)
は父上の代から私の重要なお客様です。何人かの御見合いの段取りもさせてもらつたぐらいですか
ら結婚式に出るのは当たり前のこ
とです。

ところで米田君と結婚式の四日前にちよつと一杯やつた時に「最後の締めとして早稲田大学校歌を歌いたいのですが、お願いします」との話でした。

「ところで披露宴の参加者の中で早稲田出身は何名なの」と聞き加して協力してやろう」と言つてくれたのが私の応援部後輩・岩坪信吉君と南日本新聞国分店局長の大野達郎君の二人です。宴席表もできていることですので、米田君のおやじさんと相談して、隣の席に二人はすわつてもらつた訳です。

この話は後日、大野君が南日本新聞の記事「黒デヨカ」に取り上げてくれたので、ご存じの方もおられると思いますが、記事では岩坪君だけがピエロ役となつていますが、実は大野君も同じ冷や汗組の連れであります。途中で京セラホテル支配人丹正男氏も早稲田出身ということがわかり又、米田君の契約税理士谷山紘一氏は慶應出身ですが、私も昔からのつきあいがありましたので、にわか早稲田に仲間入りしてもらい何

とか舞台ぞろえができる訳です。
岩坪君が得意のカマシをした後、「天下に冠たる早稲田大学校歌」を絶唱しました。後で参加者から「さすが早稲田の校歌は感動的で

に劣る我が稻門はスタートからいやすムードにつつまれた。
結果的には、三田の勝利で、またも涙をのんだわけだが個人戦では岩下氏が優勝するなど調子その

に劣る我が稻門はスタートからいやすムードにつつまれた。
結果的には、三田の勝利で、またも涙をのんだわけだが個人戦では岩下氏が優勝するなど調子その

☆慶應義塾大学・360.2 V S 早稲田大学・368
△ドラコン 岩下(早稲田)
△ニアピン 中江(慶應)・永野(慶應)
♡ベストグループ賞 吉富・米盛・玉川・久保



鹿児島稲門会報

(3) 平成7年12月発行

順位	氏名	アウト	イン	クロス	H.D.	ネット	順位	氏名	アウト	イン	クロス	H.D.	ネット
1位	岩下 吉康(W)	38		38	3.6	34.4	21位	正 健二郎(K)		50	50	12.0	38.0
2位	吉富 信雄(K)		43	43	8.4	34.6	22位	吉田 守(W)	43		43	4.8	38.2
3位	永野 一幸(K)	48		48	13.2	34.8	23位	川畑 哉一(K)	48		48	9.6	38.4
4位	秋葉 重貴(K)	38		38	2.4	35.6	24位	尾堂 友紀(W)		54		15.6	38.4
5位	大西 洋逸(W)	44		44	8.4	35.6	25位	田中 健作(W)		52	52	13.2	38.8
6位	新村 研二(K)		44	44	8.4	35.6	26位	岩元 恒一(K)	45		45	6.0	39.0
7位	山元 正恒(K)	/	42	42	6.0	36.0	27位	樋口 隆三(K)		45	45	6.0	39.0
8位	馬場 弘人(W)	41		41	4.8	36.2	28位	宮内 政一(K)		45	45	6.0	39.0
9位	中江 和彦(K)	40		40	3.6	36.4	29位	上妻 利久(K)		45	45	6.0	39.0
10位	米盛庄一郎(W)		46	46	9.6	36.4	30位	大迫 雅博(W)	50		50	10.8	39.2
11位	久保 四郎(K)	51	51	14.4	36.6	31位	西 純一郎(W)	56		56	16.8	39.2	
12位	本坊 修(K)	44		44	7.2	36.8	32位	八木 規(K)		49	49	9.6	39.4
13位	大西 儀明(W)	44		44	7.2	36.8	33位	石原 石(K)		44	44	3.6	40.4
14位	八尋 雅彦(K)		50	50	13.2	36.8	34位	濱田 純一(W)	50		50	9.6	40.4
15位	中尾 成昭(K)	49		49	12.0	37.0	35位	柴立 鉄彦(K)	45		45	3.6	41.4
16位	玉川 文生(W)		42	42	4.8	37.2	36位	本坊 松美(K)	53		53	10.8	42.2
17位	内村 二郎(K)	48		48	10.8	37.2	37位	田中 幸夫(W)	65		65	18	47.0
18位	川井田 哲(W)		53	53	15.6	37.4	38位	貴島 和文(K)		66	66	18	48.0
19位	大津 学(W)	51	51	13.2	37.8	39位	栗山 良昭(W)		70	70	18	52.0	
20位	諫訪園 隆(W)		44	44	6.0	38.0							

ものは自軍も決して悪くなく、参
加人員の差で敗れた結果となつた。
今回の敗北でまたも慶應との差
が開いてしまつたわけだが、たと
え親睦とはいえ、次回こそは参加
動員に是非とも御協力願いたいも
のである。

報告 幹事 大 西 儀 朋
(S 59年教育学部卒)

鹿児島海陸運送㈱取締役



応援歌で盛り上がる

=第3回鹿児島早慶懇親会=

三回目の稻門会・三田会の合同懇親会が今回から鹿児島早慶懇親会と名称を変え十一月二十日、両校約百四十人が参加して山形屋ファミリーレストランで開かれた。

両校の会長挨拶の後ロータリークラブのOBのリードによる校歌斉唱に始まり、両校の懇親会と大いに盛り上がりしていくなかで、カレッジソング応援歌を歌つ

交換留学として十月から一ヶ月間米国に滞在した体験をもとにMB（アナウンサー城光寺剛さん（S58年教育学部卒）による卓話が行われた。

その後、各対抗戦結果報告、県外新入会員自己紹介、お楽しみ抽選会と大いに盛り上がりしていくなかで、カレッジソング応援歌を歌つ

際には、早慶入り交じって肩を組むなど、両校とも久しぶりの学生気分に酔いしれた。

報告 実行委員 辛島 史朗

（S55年法学部卒）

南日本新聞社総務局



川内レガッタ早慶戦

第四回川内レガッタは、会場を太平橋下流から天大橋上流に移してボートファンの声援溢れる中で七月九日（日）開催された。

当日は好天に恵まれ、初夏の風はここちよく、川内レガッタで恒例となつた早慶の対校戦には、両校のOBは勿論のこと、ボートファンや家族の声援の中で熱戦のスタートの旗が大きく振られた。

北薩三田会と鹿児島稲門会の

氏名	学部	卒業年次	勤務先	氏名	学部	卒業年次	勤務先
姶良 一徹	教育	H 5	南日本新聞社	武盛 武士	法	S 55	鹿児島県庁
赤星 多香	政研	S 34	安田火災代理店	豊山 博美	政経	S 32	南日本放送
安部 広文	文	S 53	南日本銀行	田中 健作	1文	S 39	イシグハカリクナカ
飯山 残徳	政経	S 38	南国グランドホテル	田中 德義	商	S 48	鹿児島実業高校
板山 正一	教育	S 48	朝日産業	田中 幸夫	理工	S 41	田中幸夫建築設計事務所
伊東 達男	商	S 29	伊東商会	玉川 文生	政経	S 46	トワペール
岩切 久治	政経	S 46	鹿児島県庁	月田 好彦	政経	S 33	南日本放送
岩下 吉廣	政経	S 49	山藤建設	鶴田 志郎	社会	S 56	国見農場
岩坪 信吉	社学	S 52	岩掃	鳥居 雅之	政経	S 43	NHK鹿児島放送局
上原 一治	文	S 48	鹿児島県議会議員	永尾 勝俊	理工	H 元	三菱信託銀行
上原真寿美	文	H 4	MBC開発広告事業部	新原 晃	理工	S 29	新原製作所
大武 進	政経	S 33	著述業	西迫 正紀	政経	S 39	NHK鹿児島放送局
大坪 刚	社学	S 63	大坪岩次郎商店	西鳴 徹也	商	S 45	トヨーヨーテイエイ九州販売
大西 洋逸	法	S 30	鹿児島海陸運送	西園 靖彦	商	S 41	岩崎産業
大西 儀朋	教育	S 59	鹿児島海陸運送	濱田 紘一	商	S 43	中央ビルサービス
尾堂 友紀	理工	S 49	鹿児島共和コンクリート工業	速水 正昭	商	S 41	電通九州鹿児島支社
小野原 健	商	S 33	小野原商店	春田 滋	法	S 41	ハルタ
加藤 一徳	教育	S 40	南日本新聞社	肥後 貞人	理工	S 51	KKB鹿児島放送
狩野 雅彦	商	S 57	キリンビール鹿児島支店	福山 信之	商	S 41	南日本銀行
辛島 史朗	法	S 55	南日本新聞社	藤安 俊夫	法	S 25	藤安醸造
川井田 哲	理工	S 52	川井田組	仏潤 浩	理工	S 42	小牧建設
川内 博史	政経	S 61	川内博史事務所	堀内 恵夫	政経	S 28	南日本放送
川端 孝則	商	S 46	南生建設	松原 一樹	1文	H 6	三井海上火災
久保 英司	政経	S 54	鹿児島市役所	松元 茂	政経	S 25	鹿児島空港ビルディング
栗山 良昭	政経	S 29	日本通運参与	三島 聰	法	S 32	殖産住宅相互
黒岩 千尋	商	S 33	鹿児島女子短期大学	宮下 志徳	理	S 33	鹿児島読売テレビ
古謝将二郎	政経	S 27	さつま屋	百田 陽一	政経	S 40	KKB鹿児島放送
寿 洋一郎	政経	S 43	大島郡天城町長	森 隆男	商	S 36	鹿児島製茶
小山田善治郎	理工	S 32	鹿児島大学	森 植介	法	S 61	カング
坂本 隆司	政経	S 47	NTT鹿児島支店	山下 総一	文	S 36	ちぐさ手芸店
酒匂 康孝	政経	H 2	監査法人北三会計社	山之内尚武	理工	S 44	日本航空鹿児島空港
佐藤 敦史	法	H 5	農林中央金庫	吉田 守	教育	S 30	南日本総合サービス
佐名木高広	商	S 63	キリンビール鹿児島支店	米盛庄一郎	理工	S 56	米盛建設
重吉榮五郎	法	S 19	鹿児島プロフーズ	若元 勝	法	S 30	ワカモト商会
城光寺 剛	教育	S 58	南日本放送	渡辺 博	政経	H 6	安田火災海上保険

編集後記

今年は、川内レガッタ、対抗ゴルフ大会といずれも三田会に苦杯を嘗めさせられましたが、来年の雪辱を期待しましょう。

また合同懇親会についても、何か良いアイデア企画等がございましたら是非事務局までお寄せいただくようお願いします。

会報委員

吉田 守 久保 英司
辛島 史朗 幸弘
宮里 幸弘 大西 儀朋
始良 一徹 儀朋

西青木 亨

ボートが好スタートをきったが北薩三田会のピッチは好調で惜しくも稲門会の連覇はならなかつた。

優勝の表彰はスプリングマウンテンで行われ、両校のOBの声援溢れる中で七月九日（日）開催された。

第四回川内レガッタは、会場を太平橋下流から天大橋上流に移してボートファンの声援溢れる中で七月九日（日）開催された。

北薩三田会のピッチは好調で惜しくも稲門会の連覇はならなかつた。

ボートが好スタートをきつたが北薩三田会のピッチは好調で惜しきも稲門会の連覇はならなかつた。

ボートが好スタートをきつたが北薩三田会のピッチは好調で惜しきも稲門会の連覇はならなかつた。

ボートが好スタートをきつたが北薩三田会のピッチは好調で惜しきも稲門会の連覇はならなかつた。

ボートが好スタートをきつたが北薩三田会のピッチは好調で惜しきも稲門会の連覇はならなかつた。

ボートが好スタートをきつたが北薩三田会のピッチは好調で惜しきも稲門会の連覇はならなかつた。